

吉祥院境内の枝垂桜

由緒ある古刹、吉祥院の境内にある老巨木。高さ15m、推定樹齢40年ともいわれ、花は深い紅色。この桜の蕾の色つき具合で稲の種蒔きが行われたことから、別名・種蒔き桜とも呼ばれています。



温泉八幡神社境内の大杉

胃腸病、婦人病、外科疾患の名湯として知られる岩瀬湯本温泉の湯が沸き出す近くに湯泉八幡神社があります。神社の境内にある大杉は樹齢500年。深い緑に一带は森閑とした雰囲気があります。



温泉八幡神社境内の夫婦杉

温泉八幡神社の大杉の左隣にあるのが夫婦杉。根元から2本にわかれたその姿は、まさに寄り添う夫婦のよう。名湯岩瀬湯本温泉につかり、温泉神社、夫婦杉に参拝すると、安産と子宝に御利益があるとか。



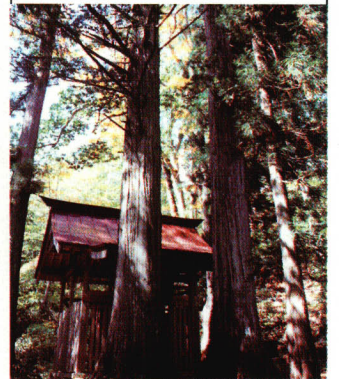
馬頭観音堂前の大杉

満願寺の奥にある馬頭観音堂には、県指定重要文化財の木造の馬頭観音座像が安置されています。この堂の前に空を仰ぐ大杉は樹齢350年、周囲4m。観音堂、満願寺とともに有名な巨木です。



御鍋神社境内のヒバ

御鍋神社には合戦に敗れた平将門の一族がこの地で再起を夢み、野戦用の鍋を御神体として祀ったという伝説が残る神社。社前の2本のヒバは原生林の中でも一際目立ち、神木として信仰されています。



二岐山のブナ原生林

海拔144m、シーズンには多くの登山者が訪れる二岐山。その山頂から南東、御鍋神社付近は豊かなブナの原生林に覆われています。うっ蒼と茂る緑は、まるで数千年の歴史を包み育んできたようです。



上松本のサイカチ

古記によると、この集落一帯は大変古い歴史があることがわかります。上松本のサイカチの木は樹齢は推定300年。所有者の北畠家も旧家であり、天明年代(1781-1789)のものと思われる。



一位の木

推定樹齢300年、樹高8mを越える一位の木は、海拔800m、白河布引山の8合目に位置する板小屋の遺跡地にあります。その墓碑などから推定すると、当時の住居地に植えたものと思われる。

